

**TEAM FUKUOKA**

# **国際金融機能誘致の方向性**

～第2回幹事会を踏まえ～

TEAM FUKUOKA事務局

2021年 4月 21日

## 1. 国際金融機能誘致に向けた現状分析

# 国際経済・社会の情勢と福岡の現状

### 国際経済・社会の情勢

- 国家安全維持法の施行により、**国際金融センター香港から、人材や資金が流出する可能性が高まっている**
- 国際金融をはじめ経済活動について、国・地域、大都市、地方都市に関わらず、**世界的に都市間競争が激化している**
- 世界の金融業界では、フィンテックやESG投資など**新たな潮流**が生まれ、**新しいビジネスモデルが不可欠な状況だが、日本ではこの分野の競争性が低い**
- 香港、シンガポールと比較して、**日本は所得税、法人税の税率が高く、在留資格などの規制も存在する**

### 福岡の現状

- 治安の良さや政治的問題が少ない日本の中でも、**東アジアの各都市に最も近く、同時被災のリスクが低い日本海側唯一の大都市**である
- 豊かな自然と充実した都市機能がコンパクトに整った**QOLが高い都市**だが、英語対応など**外国人に対応したビジネス・生活環境が脆弱**
- 福岡市は、国家戦略特区に指定され、日本で唯一無二の**スタートアップ都市**となったが、フィンテックの推進やIPOの機能強化など、**先端産業の成長を加速させる仕組みが必要**である
- 福岡をはじめ九州内には、**数多くの優秀な理工系学生や留学生が存在するが、就職により他都市・地域へ流出している**

## 2. 福岡が目指す方向性

### 福岡らしい国際金融機能の集積により

# 継続的にイノベーションを創出する国際都市を目指す！

- ◆ 外資系金融機関や高度人材などの**国際金融機能の誘致**と新たな潮流であるフィンテックなどの**集積**によって、**地域経済の活性化**を図る。
- ◆ また、**外資系企業やグローバル人材が集積**することで、**継続的にイノベーションを創出する国際都市**を目指していく。

地元企業やスタートアップの  
資金調達の可能性の拡大

外資系企業の進出による  
地元サービス経済の活性化

留学生を含む優秀な  
グローバル人材の定着

国際社会における  
福岡の知名度向上

外国人にも暮らしやすい  
生活環境・サービスの充実

### 福岡らしい 国際金融機能 の集積

- ・外資系金融機関や高度人材
- ・フィンテックやグリーンテックなど新たな技術

など

グローバル人材が  
働く多様性のある  
都市

継続的に  
イノベーションを  
創出する活力ある  
都市

誰もが  
暮らしやすい  
都市

### 3. 福岡が目指す国際金融都市のイメージ

## 福岡の特性と親和性が高い業種・業態が集積！

#### 国際金融の「情勢」 × 福岡の「特性」

- 香港の人材や資金が**流出する可能性**
- **高度人材はQOLを重視**する傾向
- 米国や英国では、資産運用業は首都だけでなく、**各都市に分散立地**
- 世界的な**グリーンファイナンス市場の拡大**と**非化石電源比率が高い九州**

- 福岡市は、日本で**唯一無二のスタートアップ都市**
- 福岡県は**理工系人材が豊富**であり、福岡市には**エンジニアが集積**
- 日本の**競争優位性が低い現状**

- 東京や大阪との**同時被災リスクが低い日本海側に面した唯一の大都市**
- コロナ禍における**地域分散型社会の到来**
- 豊かな自然と充実した都市機能がコンパクトに整った**QOLが高い都市**

#### 「情勢」や「特性」を 踏まえた**考え方**

- 香港に最も近い大都市という**地理的優位性**を活かし、**資産運用業をはじめ、付随するカストディ業務**を誘致する。
- これにより、QOLの高い都市での**ニューノーマルなライフスタイル**を創造し、**大都市と異なる個性**を創る。

- **理工系人材やエンジニアが活躍し、地域の金融機関と連携**した高度な金融サービスを構築する。**Fintech**を誘致する。
- これにより、決済、資産管理、ブロックチェーン、与信、融資など**幅広い領域の付加価値が向上**するとともに、スタートアップ都市として、**日本のフィンテックを先導**していく。

- QOLの高さを活かし、災害や感染症リスクの低減、**日本、アジアのバックアップ機能を強化**する。

#### 重点的に誘致する 業種・業態

### 資産運用業

資産運用会社、  
カストディ会社  
…等

### FinTech

### BCP対応業務

国際的知名度の向上と  
外資系他業種の立地促進

#### 4. TEAM FUKUOKAが対応すべき課題

## 制度、ビジネス環境、生活環境、プロモーション

課題分野	課題と対応案
<p><b>国際競争力のある制度の構築</b> 日本の税率の高さや行政手続きの簡素化、英語対応の問題等を解消する必要がある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>税制</b> →R3年度税制改正（法人税、所得税、相続税）</li> <li>2. <b>行政サービスの英語対応や手続き簡素化</b>→金融庁対応</li> <li>3. <b>在留資格の緩和</b> →金融庁と法務省で協議中</li> <li>4. <b>ワンストップ支援体制の構築</b> →福岡市 FGN内に「Global Finance Centre」開設 →金融庁「拠点開設サポートオフィス」開設</li> </ol>
<p><b>快適なビジネス環境の提供</b> 高付加価値なオフィス環境の確保、通信インフラ環境の強化、福岡空港国際線の充実、優秀な留学生等の就職先の確保等が必要である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. <b>付加価値が高いオフィス環境の確保</b> →天神ビッグバン、博多コネクティッドによる最先端オフィスビルの開業 →街区単位での通信・ICTインフラの充実</li> <li>6. <b>英語対応専門の士業の確保</b> →弁護士、会計士、監査法人などの誘致</li> <li>7. <b>資産運用業やFinTechを支える地元の高度人材の創出</b> →産学官の連携による新たな企業や産業の創出、人材の定着</li> <li>8. <b>福岡空港の国際路線の機能強化</b></li> </ol>
<p><b>快適な生活環境の提供</b> 外国人仕様の住居や教育、医療、事故などの英語対応の充実が必要である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. <b>高度人材（外国人）に対応したレジデンスの確保</b> →都心部でのマンション整備等の対応 →低炭素のクリーンなまちづくり</li> <li>10. <b>インターナショナルスクールの充実</b></li> <li>11. <b>英語対応による生活サポート（医療…等）の充実</b></li> </ol>
<p><b>プロモーション活動の推進</b> ネットワークづくりや情報発信等を強化する必要がある。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>12. <b>ネットワーク等を活用した誘致プロモーション活動</b> →福岡市による国際金融アンバサダーの委嘱 →非化石電源比率が高く環境に優しい都市、安価な生活コストなどのPR →各社・団体の様々な機会を通じたプロモーションの実施</li> </ol>

## 5. 最後に

# 国際都市「FUKUOKA」として次のステージへ飛躍！

- 本取り組みは、福岡が、国際金融機能の誘致を進めながら、**継続的にイノベーションを創出する国際都市となる**ことを目指していくものである。
- これまでスタートアップ都市として、また、知識創造型産業の集積を推進することで、イノベーションや付加価値を生み出す環境を整えてきた福岡。これに、国際金融機能の優れた経営資源を加え、スタートアップ企業や地元企業の海外展開をはじめ、地域経済のより一層の活性化を図っていくためには、**IPOの機能強化をはじめ、都市としての資金調達の仕組みづくり**についても、**将来の課題として検討していく必要がある**。

福岡が次のステージに飛躍していくためには…  
時限的な取り組みではなく、  
**継続して実行していくことが重要！**